

記載例

作成者及び作成年月日を記載してください。
その後、一覧表のやり取りの過程で、加筆又は修正等をした場合は、その履歴(年月日及び加筆又は修正者)を記載してください。

事件番号、係名及び当事者名を記載してください。

令和〇〇年(ワ)第〇〇〇号 民事第〇部〇係
原告〇〇〇〇/被告〇〇〇〇
令和〇〇年〇月〇日原告作成
令和〇〇年〇月〇日被告記入
令和〇〇年〇月〇日原告修正

被害リスト

No	被害箇所	発見時期	原告						被告					
			工事前の状況		工事後の被害状況		損害		工事前後の状況		損害			
			主張	証拠	主張	証拠	補修方法	補修費用	証拠	主張	証拠	補修方法	補修費用	証拠
1	1階リビング東面壁南側窓左下	〇〇年〇〇月〇〇日	クラックは存在しなかった。被告の指摘するクラックは、別の箇所のものである。	甲6・写真3~5	幅最大2mm、長さ65mmのクラックが発生した。	甲2・写真1~3、甲47	クラックにシーリングを充填した上で、クロスを貼り直す。	¥80,000	甲12・3頁	現在クラックが存在することは認めるが、本件工事以前から存在した。原告の提出する工事前の写真は不鮮明であり、クラックが存在するかどうか判別できない。	乙23	補修の必要はない。	¥0	
2	3階寝室東面壁	〇〇年〇〇月〇〇日	経年による多少の汚れはあったものの、塗装材による汚れは存在しなかった。	甲27	壁面の広範囲にわたり、塗装材が付着している。	甲2・写真4~8	東面全面について、壁面塗装をやり直す。付着箇所のみ塗装では、他の部分と色の違いが出てしまい、相当でない。	¥650,000	甲12・4頁	被告の施工に起因して塗装材が飛散し、原告宅の壁面に付着したことは認める。		補修としては、付着箇所のみ塗装をし直せば十分である。	¥75,000	乙15・2頁
合計							¥730,000						¥75,000	

一覧表のやり取りの過程で、加筆又は修正等をした場合は、アンダーラインを付し、又は文字に色を付けること等により、加筆又は修正等した箇所が分かるようにしてください。

被害の発生機序について実質的に争いがあるときは、準備書面において具体的に主張してください。